

最高検檢第1624号

平成18年5月24日

検事長 殿

検事正 殿

次長検事 上田廣一

「特に犯情悪質等の無期懲役刑確定者に対する刑の執行指揮及びそれらの者
者の仮出獄に対する検察官の意見をより適正にする方策について」の一部
改正について（依命通達）

平成10年6月18日付け最高検檢第887号当職依命通達「特に犯情悪質等
の無期懲役刑確定者に対する刑の執行指揮及びそれらの者
者の仮出獄に対する検察官の意見をより適正にする方策について」の一部を下記のとおり改正し、平成1
8年5月24日から実施する。

記

題名中「仮出獄」を「仮釈放」に改める。

本文中「仮出獄」を「仮釈放」に、「行刑施設」を「刑事施設」に改める。

別紙様式1、別紙様式5から別紙様式7を次のように改める。

別紙様式 1

年　月　日

最高検察庁総務部長 殿
(　高等検察庁経由)

地方（高等）検察庁 檢事

④ 無期事件被告人の選定について（協議）

罪名

氏名

標記の者は下記の事由から、平成10年6月18日付け最高検檢第887号
次長検事依命通達1の [] に該当すると考えますので、協議に及びます。

記

1	生年月日(年齢)	年　月　日生 (　歳)
2	身柄の所在	収容中

注　記述が枠内に収まらないときは、隨時別紙を使用する。

◎無期事件処理票

整理番号	年号	作成の日	年月日
氏名	(年月日生)		
罪名	(いわゆる事件名)		
事案の概要			
裁判審	年月日 (主文)	地方裁判所 (検察官控訴)	支部 宣告
控訴審	年月日 (主文)	高等裁判所 (検察官上告)	支部 宣告
上告審	年月日 (主文)	最高裁判所 (被告人等控訴)	小法廷(判決・決定)
確定の日	年月日 (確定事由)		
備考			

(裏面に続く)

平成10年6月18日付け最高検査第887号次長検事依命通達1の [] に該当										
④ 無期事件選定経過	無期懲役刑判決に対し検察官上訴しないとき									
	選定庁	検察庁(意見)								
	高検への協議	年月日(結果等)								
	最高検への協議	年月日(結果等)								
	最高検回答	年月日								
	上告審で無期懲役刑判決を確定させざるを得なくなったとき									
	最高検選定決定の日	年月日								
	決定書送付の日	年月日 高検経由 地検あて								
	処遇上の参考事項調査票作成	年月日 檢事作成								
	通達施行前に執行指揮されている無期懲役刑受刑者につき求意見を受けたとき									
求意見の状況	高検に対する結果	原庁意見								
高検への協議	年月日(結果等)									
最高検への協議	年月日(結果等)									
最高検回答	年月日									
執行指揮	最高検が刑執行指揮嘱託を行った日及び嘱託先		年月日 高等検察庁あて							
	刑執行指揮の日		年月日 檢察庁							
	処遇上の参考事項調査票写し受領の日及び作成		年月日 檢察庁							
求意見に関する報告	①	求意見	年月日	刑務所長	から	地検あて	結果まで	年月		
	原庁意見	相当	高検意見	相当	最高検報告	年月日	結果	年月日		
②	求意見	年月日	刑務所長	から	地検あて	結果まで	年月			
	原庁意見	相当	高検意見	相当	最高検報告	年月日	結果	年月日		
仮釈放	仮釈放の日	年月日	受刑期間	年月	出所	刑務所	刑務所			
完結	完結年月日	年月日	完結事由							
備考										

(注意) 1 本票は、被告人ないし受刑者が、④無期事件の被告人ないし受刑者として選定されたときに作成し、順次、追記する。

2 本票は、④無期事件の被告人ないし受刑者が、仮釈放されたとき、又は、死亡したことが判明したときに完結する。

3 処遇上の参考事項調査票写し等の関係書類は、本票に添付して保管する。

別紙様式 6

年 月 日

最高検察庁総務部長 殿
(高等検察庁経由)

地方(高等)検察庁 檢事

④無期事件受刑者の仮釈放に対する意見について(報告)

受刑者氏名 (年 月 日 生 歳)

標記の者につき、今般次表のとおり仮釈放審査のための意見を求められたので、これに対する意見を同表記載のとおり提出したので、参考事項を添えて、報告します。

意見を求められた年 月日及び刑務所等	年 月 日 刑務所長 地方更生保護委員会
判決の言渡し・確定	年 月 日 言渡し 裁判所 年 月 日 確定
刑の執行状況	年 月 日 刑の執行開始 年 月 日 求意見(年 月服役)
刑務所長等の意見	
一審対応 庁意見	別添意見書のとおり
高 檢 意 見	

注1 2つ併記されているものは、このうち該当するものを○で囲む。

注2 記述が枠内に収まらないときは、隨時別紙を使用する。

別紙様式 7

年 月 日

最高検察庁総務部長 殿
(高等検察庁経由)

地方検察庁 檢事

④無期事件受刑者の選定及び仮釈放に対する意見について（協議）

受刑者氏名 (年 月 日生 歳)

標記の者は次表記載の事由から、平成10年6月18日付け最高検査第887号次長検事依命通達1の [] に該当すると考えられ、また、同人につき、今般同表記載のとおり仮釈放審査のための求意見を受けたので、これに対する意見を同表記載のとおりとしたいので、協議に及びます。

意見を求められた年 月日及び刑務所等	年 月 日	刑務所長 地方更生保護委員会
刑の執行状況	年 月 日	刑の執行開始 年 月 日 求意見 (年 月 服役)
刑務所長等の意見		
一審対応序意見	別添意見書のとおり	
高 檢 意 見		

注1 2つ併記されているものは、このうち該当するものを○で囲む。

注2 記述が枠内に収まらないときは、隨時別紙を使用する。